



ぶらいらいぶらりん



中山中学校図書館だより R4.5 月号
司書教諭・加藤香澄 司書・中井康恵

図書館でひと時の安らぎを

ゴールデンウィークも過ぎて、ちょっと落ち着いた感じの図書館です。

昼休憩には、本を返す人、借りる人、お気に入りの本を日参して読み続けている人、三々五々集まって、それぞれにゆったり過ごしてくれています。

最近「サードプレイス」という言葉がよく使われています。家庭でも学校や職場でもなく、居心地の良い第3の場所という意味があります。

公共図書館などでの「サードプレイス」としての役割を担っています。学校

知っておくと便利な分類の話

覚えていますか？オリエンテーションで話した分類の意味。

実は小学校でも習ったはずなのですが、「日本十進分類法（NDC）」というものが図書館では使われているのでしたよね。そして、本に書かれている内容によって0から9まで仲間分けがされているのです。

今月からこの分類について一つずつ復習したいと思います。

覚えておくと日本中どこの図書館に行っても役に立つ知識なので

ぜひ、NDCの達人になって卒業してください。まず今月は0類から・・・



0類(000~099) 総記 「ソーキ」・・・この不思議で魅力的な棚

日常では聞きなれないこの「総記」という言葉を説明するのはいささか難しいですが、平たく言ってしまうと、どの分野にも収まりきらず、どの分野にも関わりのある本が収められているのがこの「総記」の棚です。

代表的なのは百科事典。そして情報科学（コンピューターソフトなど *ハードは5類の情報工学に入ります。）図書館やブックガイドや読書に関するもの。雑学、ジャーナリズム。郷土資料（最近では地域資料とも言います。）などが主にここに入ります。ただし、百科事典と郷土資料は別置されていることが多いです。司書は「総記」を「知識への入り口」と考えています。

貸出冊数を変更しました。
ひとり3冊まで2週間
貸出します。
「もっとたくさん読みたい！」
という嬉しいご要望と、返却
期限がきちんと守られている
現状を考えて、5月から変更
しました。たくさん読んでね。

裏面も見えてね！

初夏におすすめの本

紹介する本は

タイトル 編・著者 (分

頁、

今月の司書のイチオシ！！



種をまく人

ポール・フライシュマン (933 フラ)

貧しい人々が暮らす街の一角にある
ごみ溜めのような空き地。ある日、一人の少女
がそこに豆を六粒蒔いた。

小さな種をきっかけに人々の意識が少しずつ
変わっていく様子を描いた傑作小説です。

日本のカエル48 偏愛図鑑

迫野貴大 (487 サコ)

鳥取県にはカエルが大好きな金メダル選手が
います。きっとこの本を見たらケロケロっと飛び上



ヘンな名前の植物

藤井義晴 (470 フク)

ヘクソカズラって臭いの？
ハキダメギクって掃き溜めに咲いて
るの？

植物の名前、特に日本特有の「和名」
には何でそんな名前にしたの??
というものがいっぱい。
不思議な植物の名前について考えて



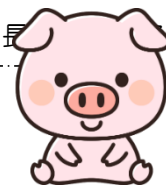
5月5日は「立夏」でした。暦の上ではもう夏ということです。
国語の授業で俳句に取り組んでいるクラスがあり、廊下にたくさ
んの俳句関連の本を並べています。五・七・五の短いフレーズの中
に季節感や風景、匂いや音までを映し出すことでその時々
の思いを詠む、世界一短い文学。はまると面白いですよ。皆さんは毎
日美しい景色や音に囲まれて実に恵まれた環境で学習ができてい
るので羨ましい限りです。ぜひ、若い感性を日々磨いていってほ
しいなあと切に願います。 燕 飛ぶ父と覚えし九九の段 y.

グリーン・グリーン あさのあつこ (913 アサ)

とある農林高校に都会育ちの新米教師がやって来た。出会っ
たのはバラの花が好きな豚！？

失恋のショックから炊き立てのおむすびのおかげで立ち直る
ことができた彼女は、勇んで赴任した学校で厳しい現実と向
き合うことになる。

季節ごとの行事を体験しながら教師として成長



弟の戦争

ロバート・ウェストール (933

ウエ)

心の優しい弟がある日突然、「自分は
イラク軍の少年兵だ」と言い出した。
フィギス12歳、1990年湾岸戦争
の真ただ中のことだった・・・。
遠くの出来事であるはずの戦争が、平
凡な家庭に不吉な影を落とす。弟想
いの兄はどうしてやることもできず、悩
み苦しむ。青春小説の名手が描いた不



秋の読書週間ほどには知られていませんが、4月23日～5月12日
は「こどもの読書週間」でした。

なんで新学期の忙しい時期にといつも思うのですが、実はこの日は
『ドン・キホーテ』の作者・セルバンテスの命日で、さらには、イギ
リスの文豪シェイクスピアの誕生日にも当たるため、本に縁の深い日
として昔から本を贈りあう風習があるのだそうです。

ユネスコでは1996年からこの日を「世界本の日」と制定、日本でも
2001年から「子ども読書の日」と定められています。

そして、こどもの日ははさんだ5月12日までを「こどもの読書週間」
としているのです。